

アダンTテープ

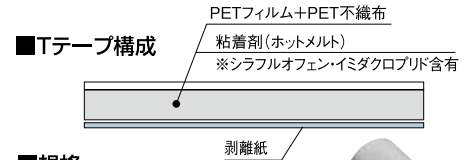
防蟻・防湿テープ

「通常納まり」・「基礎断熱対応工法」施工説明書

この施工説明書は、フクビ製品「アダンTテープ」を使用した「通常納まり」・「基礎断熱工法」対応 施工手順参考例です。
下記の施工説明書をよくご確認の上、正しく施工を行ってください。

当工法において、「蟻返し(15~30mm)」はシロアリの突破を完全に防止する保証ではなく、容易に突破することを防ぎ、蟻道形成によってシロアリ侵入の早期発見を狙ったものです。また、土壌面(および断熱材埋没付近)への別途防蟻処理との併用をおすすめします。

工法分類	通常納まり	※基礎天端からの湿気および防蟻効果
アダンTテープ工法	基礎断熱対応工法	<ul style="list-style-type: none"> ●基礎外側断熱工法 ●基礎内側断熱工法 ●基礎両側(内側+外側)断熱工法



■規格

●アダンTテープ

呼称	規格(巾×長さ×厚)	梱包
アダンTテープ80	80mm×25m×0.4mm	8巻入
アダンTテープ135	135mm×25m×0.4mm	6巻入
アダンTテープ160	160mm×25m×0.4mm	
アダンTテープ175	175mm×25m×0.4mm	
アダンTテープ190	190mm×25m×0.4mm	
アダンTテープ230	230mm×25m×0.4mm	
アダンTテープ270	270mm×25m×0.4mm	

⚠️ 注意

■施工に際しての注意事項

- 施工に際しましては、作業衣および手袋などの保護具を必ず着用してください。
- 火気のあるところでは使用しないでください。
- 万一、施工中に頭痛、目の痛みなど気分が悪くなった場合などは、直ちに作業を中止し、医師の診断を受けてください。
- 定められた用法を遵守してください。間違った方法で生じた事故については責任を負うことはできません。
- 作業終了後は直ちに手や顔を洗ってください。
- 使用残材は決して野外投棄などせず、専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 保管は、直射日光、高温高湿を避け、屋内で小児の手の届かない鍵のかかる場所で行ってください。

■施工時の注意事項

- 基礎天端が濡れている場合、雨天の場合は、施工しないでください。
- 基礎天端のゴミ、ホコリを取り除き、Tテープ裏面の剥離紙をはがして使用してください。
- 温度(気温)によって粘着強度が変わりますのでご注意ください。

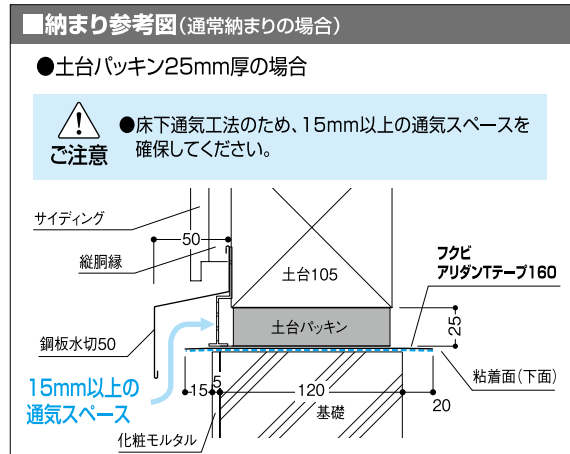
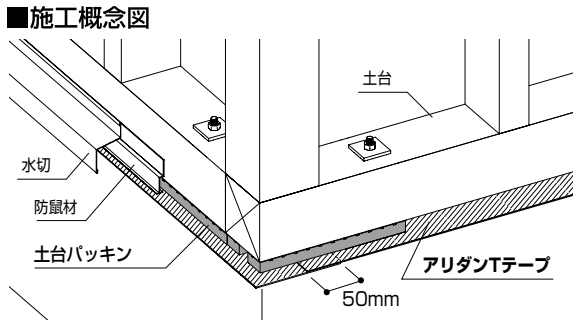
アダンTテープ「通常納まり」

■施工前に準備するもの

- アダンTテープ / ●カッター / ●スケール

■使用巾拾い出し

基礎巾	対応製品(推奨)
120mm巾	アダンTテープ160
135mm巾	アダンTテープ175
150mm巾	アダンTテープ190

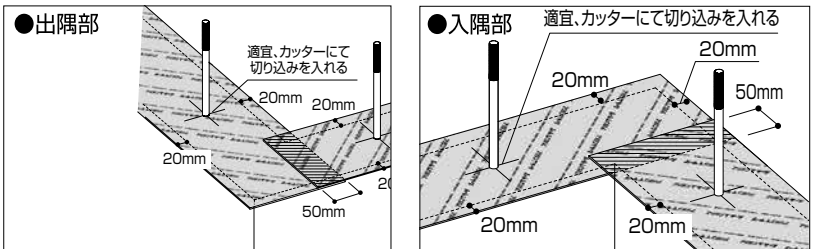


■施工手順

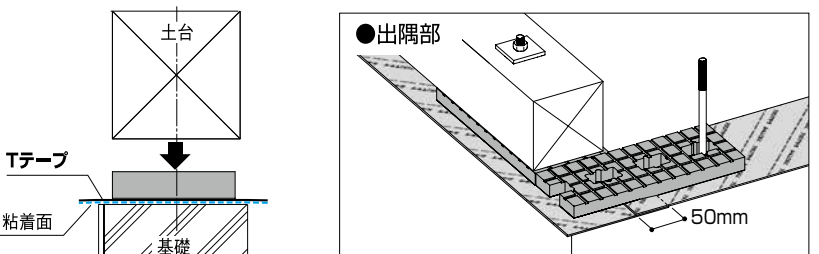
手順1 Tテープの基礎天端への施工 ※基礎からの張り出し寸法は、スケール等を使用して、確実に行ってください。
基礎天端のゴミ・ホコリを取り除き、Tテープの裏面剥離紙をはがして貼っていきます。
基礎天端にTテープを、基礎外側・内側ともに20mm張り出すように貼り付けていきます。

【アンカーボルト部の処理】
アンカーボルト部はTテープにカッターで切り込みを入れて差し込みます。このとき、剥離紙を施工時に切り離すかあらかじめ切り離しておくなどしてください。(他工法の手順1参照)
※基礎外側は化粧モルタル5mm厚の場合、15mm張り出し寸法になります。

手順2 Tテープの重ね合わせ
Tテープの重ね合わせは50mm以上としてください。



手順3 土台施工(土台伏せ)
Tテープは半透明ですので、正確な位置出しをして土台を伏せます。



基礎外側断熱工法(壁外張断熱)の場合の納まり

施工前に準備するもの

- アリダンTテープ / ●カッター / ●スケール

■アリダンTテープ 使用巾拾い出し

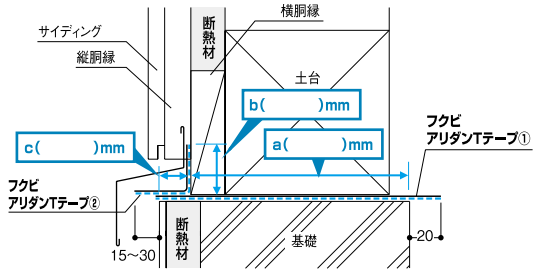
アリダンTテープの使用巾を拾い出す際にご利用ください。

①基礎天端へのTテープ①使用巾 ※c寸法は20mm以上としてください。

$$\text{Tテープ①製品巾}(\quad)\text{mm} \geq \text{蟻返し}(20)\text{mm} + a(\quad)\text{mm} + c(\quad)\text{mm}$$

②上貼りのTテープ②使用巾 ※b寸法、c寸法は20mm以上としてください。

$$\text{Tテープ②製品巾}(\quad)\text{mm} \geq b(\quad)\text{mm} + c(\quad)\text{mm} + \text{蟻返し}(15\sim30)\text{mm}$$

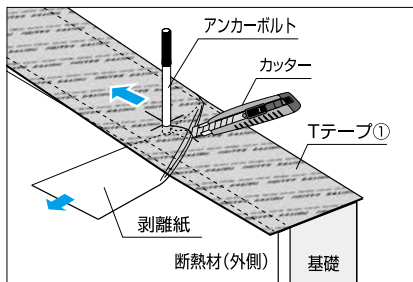


■施工手順

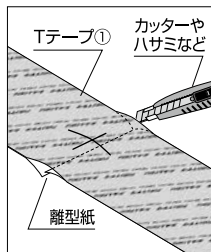
手順1 剥離紙のアンカーボルト部の処理

アンカーボルト部ではアンカーボルトまで剥離紙をはがして下図のようにクロスカット部の上から剥離紙を切断するか、または、あらかじめアンカーボルト部の剥離紙をカットしておいてください。

●クロスカット部上から剥離紙カット

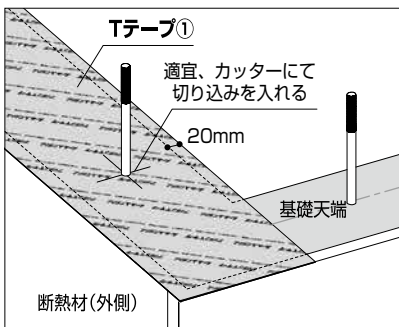


●クロスカット部剥離紙のみあらかじめカットしておく



手順2 Tテープ①の基礎天端への施工

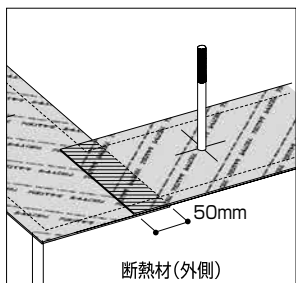
アンカーボルト部はTテープ①にカッターで切り込みを入れて差し込みます。基礎天端にTテープ①を、基礎天端内側に20mm張り出しを基準に貼り付けていきます。このとき、基礎天端部のみを手で圧着します。



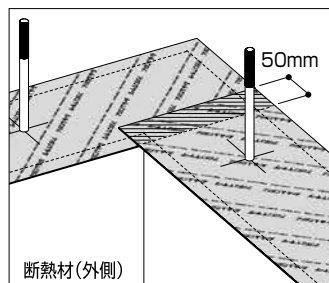
手順3 Tテープ①重ね合わせ

Tテープ①の重ね合わせは50mm以上としてください。

●出隅部

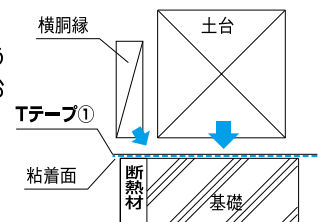


●入隅部

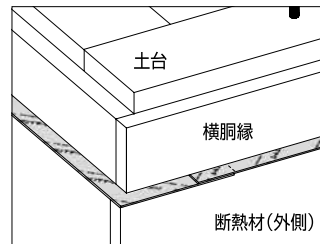


手順4 土台施工(土台伏せ)

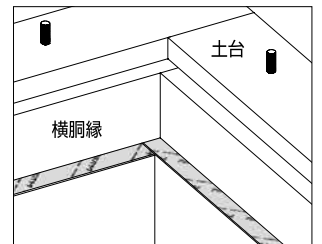
Tテープ①の施工の前に墨出しを行うなど、正確な位置出しをして土台および横胴縁を施工します。



●出隅部



●入隅部



手順5 Tテープ②上貼りの施工

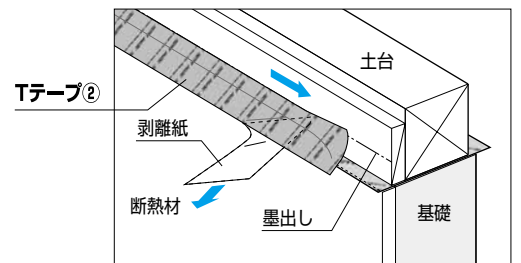
横胴縁側面に貼り付け基準となる墨出しを行い、Tテープ②を土台立ち上がり部から基礎断熱材天端にかけて、貼り付けていきます。

- ※横胴縁側面への立ち上げ寸法、断熱材上面への水平張り出し寸法を確認してから行います。
- ※水平張り出し寸法は、蟻返し巾15~30mm、化粧モルタルおよび断熱材厚みを考慮し、設定してください。
- ※Tテープ②は、折り目を付けて位置合わせをします。

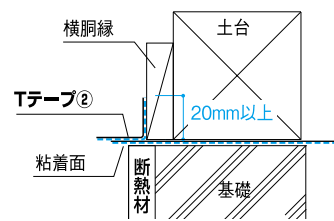
位置合わせをしたTテープ②の剥離紙をはがします。

※この時点ではまだ圧着しないでください。

●剥離紙(上側)



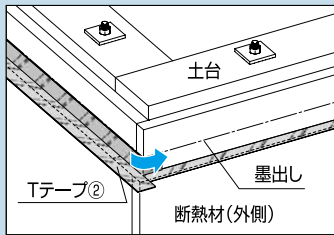
Tテープ②の胴縁側面への直接貼り付け寸法は20mm以上としてください。
Tテープ①への貼り合わせも20mm以上としてください。



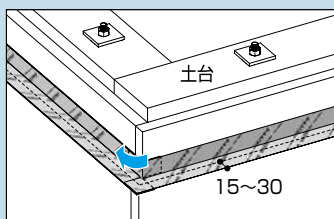
出隅部・入隅部の処理②

●出隅部

Tテープ②に切り目(土台外側への張り出し寸法)を入れ、折り返します。

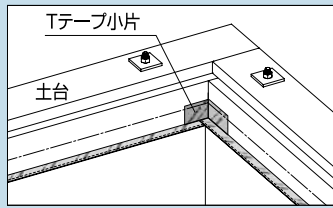


同様にもう片側も施工します。

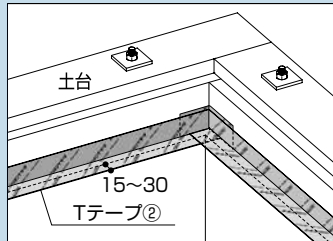


●入隅部

まず、土台入隅部(立ち上がり面)に隙間防止のため、Tテープ小片をL字型に貼り付けます。



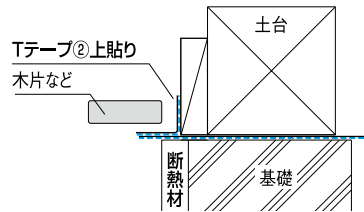
Tテープ②をL字型に上貼りし、入隅部際まで行います。(もう片側も同様に施工)



※両側のTテープが入隅部突き付け状態になります。

手順6 型押し

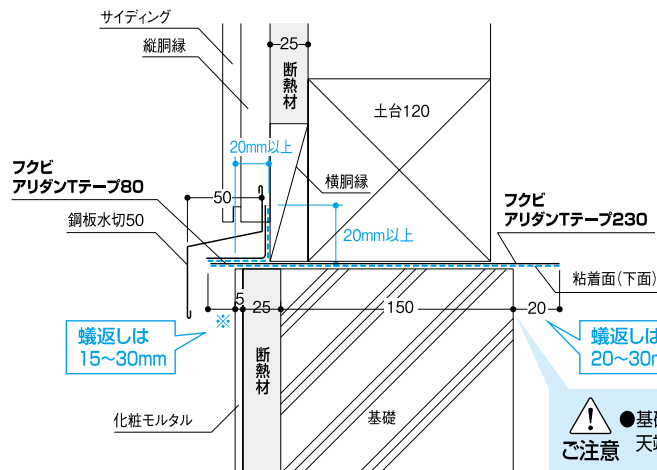
木片・ヘラ・コテなどを使い、きれいなL字型になるよう型押ししながら貼り付け、圧着します。



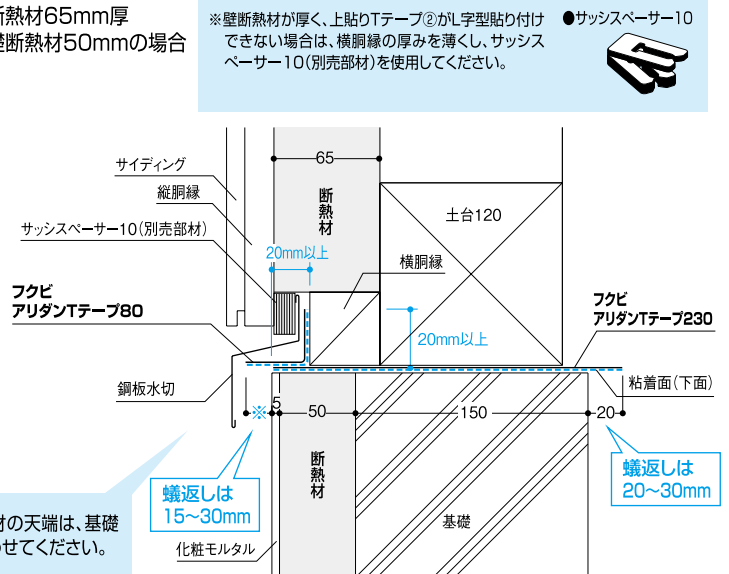
壁外張断熱の場合

■納まり参考図(壁外張断熱の場合)

●壁断熱材25mm厚 基礎断熱材25mmの場合



●壁断熱材65mm厚 基礎断熱材50mmの場合



※壁断熱材が厚く、上貼りTテープ②がL字型貼り付けできない場合は、横胴縁の厚みを薄くし、サッシペーサー10(別売部材)を使用してください。

●サッシペーサー10



●お問合せ



本社/福井市三十八社町33-66 ☎(0776)38-8013 〒918-8585
 東京 ☎(03)5742-6301 大阪 ☎(06)6386-6950 名古屋 ☎(052)855-2332
 札幌 ☎(011)896-7500 盛岡 ☎(019)654-7511 仙台 ☎(022)287-3471
 宇都宮 ☎(028)636-3521 北関東 ☎(048)661-0400 千葉 ☎(03)5742-6301
 神奈川 ☎(045)470-1050 新潟 ☎(025)241-7832 北陸 ☎(0776)38-8010
 静岡 ☎(054)288-3600 京都 ☎(075)662-2315 岡山 ☎(086)232-0601
 広島 ☎(082)246-7211 福岡 ☎(092)471-5800 鹿児島 ☎(099)259-0220
 沖縄 ☎090-7383-5030

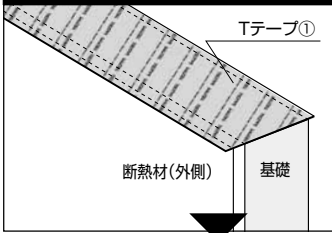
<https://www.fukuvi.co.jp>

ET026 2021.3 ①

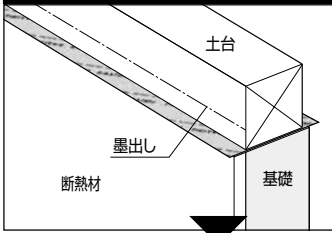
基礎外側断熱工法(壁充填断熱)の場合の納まり

「基礎断熱工法」施工の流れ(3つのポイント)

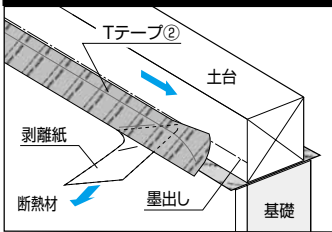
基礎天端への施工



Tテープ上貼り用墨出し

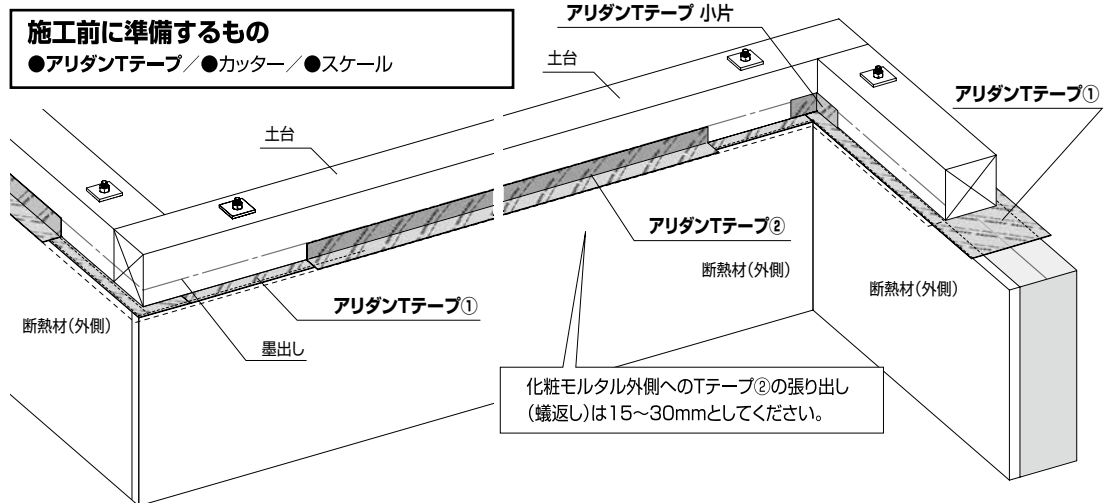


Tテープ上貼りの施工



施工前に準備するもの

- アリダンTテープ
- カッター
- スケール



アリダンTテープ 使用中拾い出し

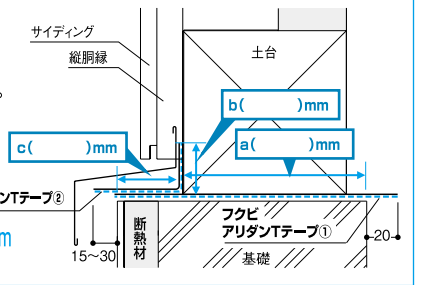
アリダンTテープの使用巾を拾い出す際にご利用ください。

①基礎天端へのTテープ①使用巾 ※c寸法は20mm以上としてください。

$$Tテープ①製品巾()mm \geq \text{蟻返し}(20)mm + a()mm + c()mm$$

②上貼りのTテープ②使用巾 ※b寸法, c寸法は20mm以上としてください。

$$Tテープ②製品巾()mm \geq b()mm + c()mm + \text{蟻返し}(15\sim30)mm$$

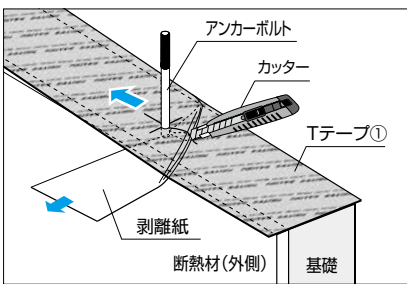


施工手順-1

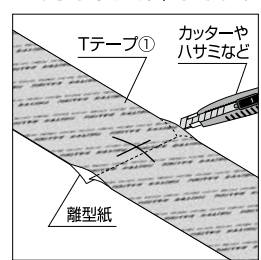
手順 1 剥離紙のアンカーボルト部の処理

アンカーボルト部ではアンカーボルトまで剥離紙をはがして下図のようにクロスカット部の上から剥離紙を切断するか、または、あらかじめアンカーボルト部の剥離紙をカットしておいてください。

●クロスカット部上から剥離紙カット

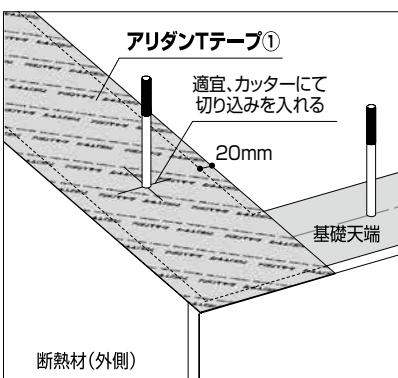


●クロスカット部剥離紙のみあらかじめカットしておく



手順 2 Tテープ①の基礎天端への施工

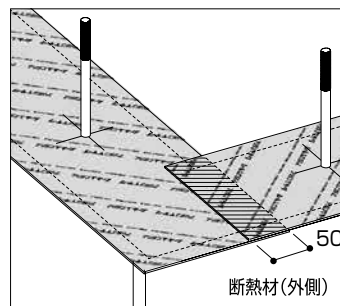
基礎天端にTテープ①を、基礎天端内側に20mm張り出しを基準に貼り付けていきます。



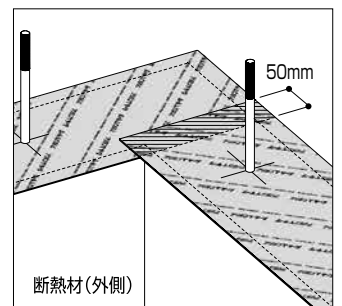
手順 3 Tテープ①の基礎天端重ね合わせ

Tテープ①の重ね合わせは50mm以上としてください。

●出隅部

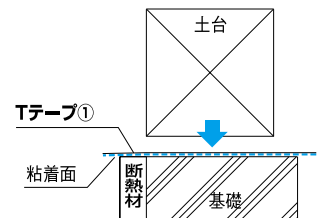


●入隅部

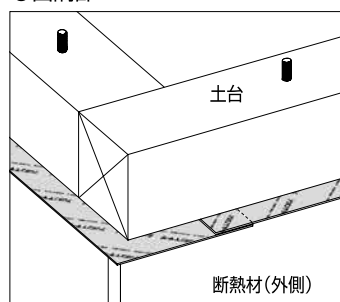


手順 4 土台施工(土台伏せ)

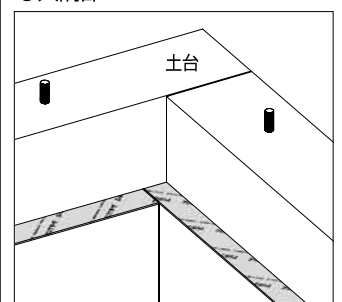
Tテープ①の施工の前に墨出しを行うなど、正確な位置出しをして土台を伏せます。



●出隅部



●入隅部

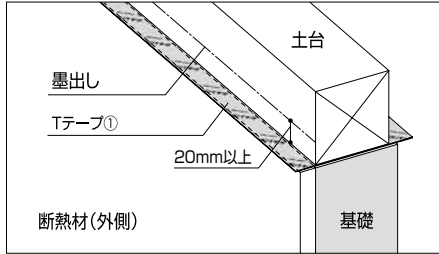


■施工手順-2

手順5 Tテープ②上貼りの施工

土台側面に貼り付け基準となる墨出しを行い、Tテープを土台立ち上がり部から基礎断熱材天端にかけて、L字型に貼り付けていきます。

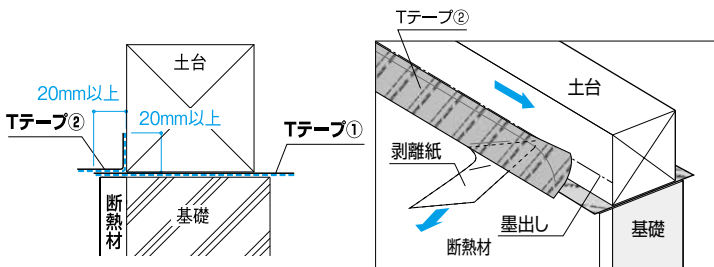
※土台側面への立ち上げ寸法、断熱材上面への水平張り出し寸法を確認してから行います。
 ※水平張り出し寸法は、蟻返し巾15~30mm、化粧モルタルおよび断熱材厚みを考慮し設定してください。
 ※Tテープ②は、折り目を付けて位置合わせをします。



位置合わせをしたTテープ②の剥離紙をはがしながら貼り付けます。

※この時点ではまだ圧着しないでください。

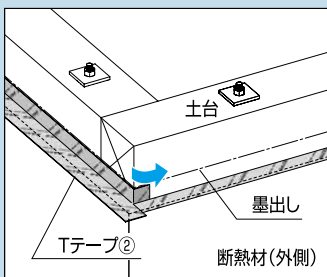
Tテープ②の胴縁側面への直接貼り付け寸法は20mm以上としてください。
 Tテープ①への貼り合わせも20mm以上としてください。



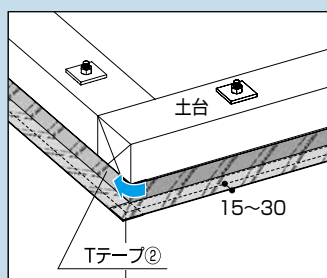
出隅部・入隅部の処理(Tテープ②)

●出隅部

Tテープ②に切り目(土台外側への張り出し寸法)を入れ、折り返します。

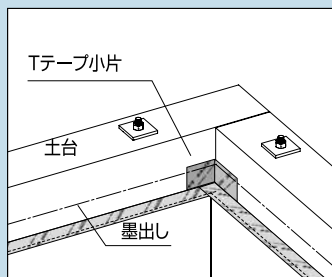


同様にもう片側も施工します。

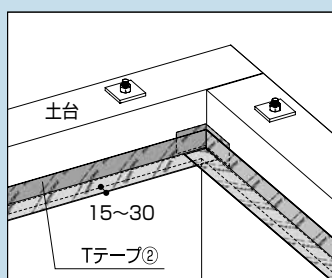


●入隅部

まず、土台入隅部(立ち上がり面)に隙間防止のため、Tテープ小片をL字型に貼り付けます。



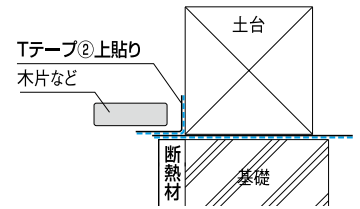
Tテープ②をL字型に上貼りし、入隅部際まで行います。(もう片側も同様に施工)



※両側のTテープ②が入隅部突き付け状態になります。

手順6 型押し

木片・ヘラ・コテなどを使い、きれいなL字型になるよう型押ししながら貼り付け、圧着します。

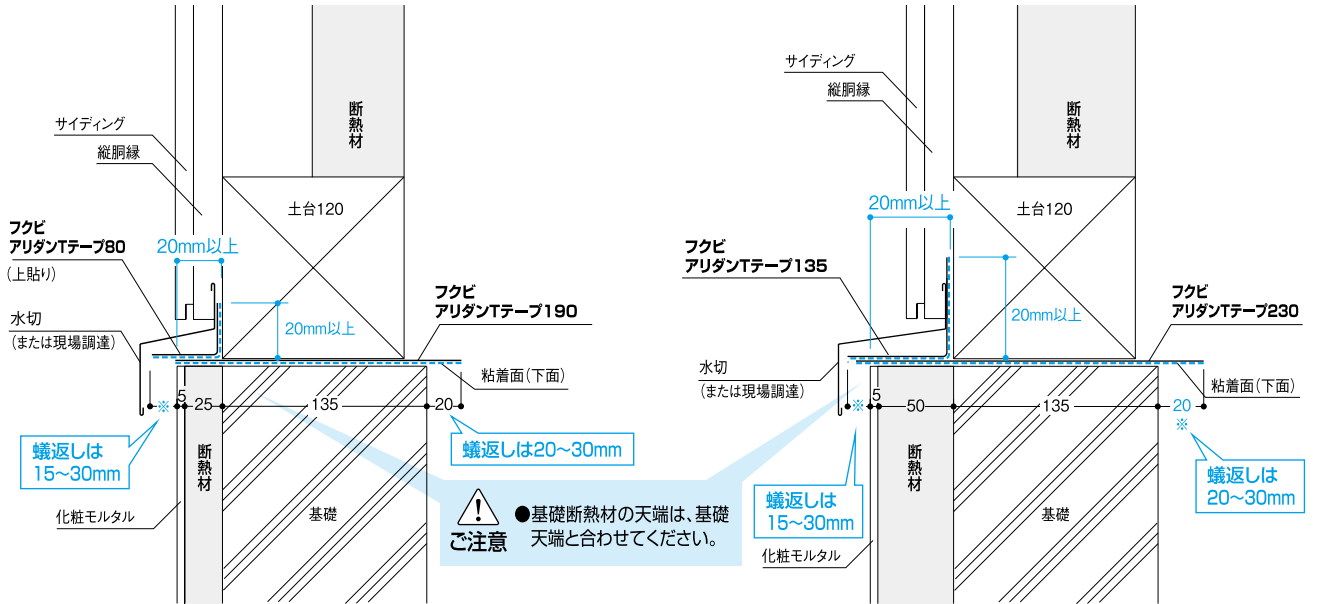


壁充填断熱の場合

■納まり参考図(壁充填断熱の場合)

●断熱材25mm厚の場合

●断熱材50mm厚の場合



基礎内側・両側(内側+外側)断熱

基礎断熱材内側張りの場合は、フクビ バリアパックン10を使用して基礎内側の気密を図ってください。

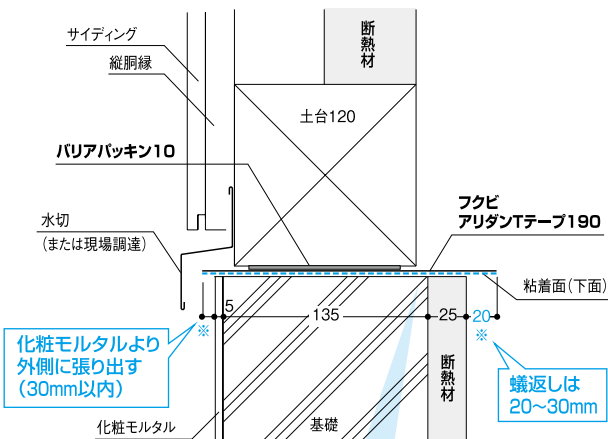
また、基礎断熱材両側張りの場合は、2枚の適切なサイズのテープを使用して施工してください。(壁充填断熱施工手順を参照してください。)

■基礎内側断熱工法の場合の納まり参考図

●断熱材25mm厚(基礎内側)の場合

施工前に準備するもの

- アリダンテープ / ●バリアパックン10 / ●カッター / ●スケール



■基礎両側(内側+外側)断熱工法の場合の納まり参考図

●断熱材25mm厚(基礎両側)の場合

施工前に準備するもの

- アリダンテープ / ●カッター / ●スケール

